

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ逗子		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2026年1月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46名	(回答者数) 41名
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2026年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ご利用様がより良い環境で支援を受けられるよう、情報の把握や環境整備に力を入れている。	・教室内の清潔が保たれるように、毎日の清掃や消毒を徹底して行っている。	・定期的な面談の実施や、父母会を設定するなど、保護者の方と密な連携ができるように努めていく。
2	・個別支援計画に沿った支援が行えるよう、児童の特性を理解し、一人一人に寄り添った支援ができるよう、日々の支援を行っている。	・朝礼と終礼を毎日実施しており、前日の情報共有や気になったことを職員全員が考えることができるような時間を設けている。	・日によっている職員が違うため、全員に共通した認識を伝えられるようにノートの確認の徹底や、共有事項をまとめて伝えられるように記録しておくようにする。
3	・子どもたちが楽しめるような活動を日々用意している。月間の活動表も見やすいよう工夫している。	・前月とあまり被らないような内容、平日毎日来る児童や毎週の固定曜日の児童もいるため、カレンダーの縦と横で似たような活動にならないようにしている。	・外出もなるべく多く取り入れているが、人員等の関係でキャンセル待ちが発生してしまうこともあり、人員を増やしてより多くのご利用希望の方に利用いただけるよう環境を整える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・教室内に柱があり、死角が生まれてしまうこと、柱に当たり怪我をする危険性がある。	・怪我が起きないよう、クッションでカバーはしているが、柱は移動ができないため、いたしかたない部分ではある。	・死角がないよう職員の立ち位置を工夫したり、教室内では歩くよう適宜声掛けを行う。
2	・人員が足りず、送迎をお待たせしてしまったり、キャンセル待ちが発生してしまう、また、送迎に出ていると教室内で待機している職員が少なく、手薄になる時間帯が発生してしまう。	・人員不足が発生している日がある。	・人員の確保、トイロで働きたいと思ってもらえるよう、礼儀正しい行いを率先して行う。
3	・避難訓練等、いつどのような訓練を実施したか、保護者に確実に伝えることができていない。	・以前は月間活動表の中に避難訓練を組み込んでいたが、児童があらかじめ把握できてしまうことから、実施日は伝えずに避難訓練を行っていた。	・避難訓練を実施した日は連絡帳でその旨を保護者に伝えたり、その日に利用していない家庭については活動記録等で配信できるようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ逗子

公表日 2026年3月10日

利用児童数 46名

回収数 41件

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	6		3	・部屋がいくつかあるので対応できていると思う。 ・どのくらい利用されているお子様がいるのか不明なため。 ・屋外活動が多く満足している。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	38			3	・どのくらい利用されているお子様がいるのか不明なため。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	39	1	1		・エレベーターがなく、足が悪い方は利用しづらいのではないかと。	・ご利用希望の方には事前にご説明し、職員の介助等も行いながら多くのご利用者様に安全にご利用いただけるよう努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	39	2			・定期的にお掃除イベントもありきれいだと思う。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	1		3	・どのあたりがそれにあたるのかわかりにくい。(有資格者の在籍等があるかも含む)	・定期的な職員一覧の配布、保有資格も載せて保護者の方に安心していただけるようにいたします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	2		2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38	2		1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	3		2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	40			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	39	1		1	・とても工夫されていると思う。 ・いろいろなイベントが組まれていて子供は楽しんでいる。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	19		6	16	・必要性を感じていない。	・地域のイベントに積極的に参加できるよう、日程の把握等に力を入れてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	1	5	11		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	39	1		1	・システムにて職員の方たちの記述で当日の子供の様子がよくわかる。	・昨年の12月より親子イベントの実施を始めました。今後も親子イベント、父母会を実施できるよう検討してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	3	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	5	11	17		・昨年の12月より親子イベントの実施を始めました。今後も親子イベント、父母会を実施できるよう検討してまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	2	2	7		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	34	3	1	3	・すべてではないがイベントは発信されていると思う。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37			4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	1		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	2		7	・わからない。 ・説明はあったが、実際の実施については不明。	・活動記録等で実施日や内容、様子などを伝えていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37	1		3	・定期的に行われているのかわからない。 はじめはあったように思う。	・活動記録等で実施日や内容、様子などを伝えていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36			5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	39			2	・普段はひとりで過ごす時間が多いが、安心して過ごせる場所、理解してくれる人がいること、話を聞いてくれる方々がいることをありがたく思っている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	6		2	・毎回楽しかった様子で帰ってきている。 ・いつも楽しみに通っている。 ・出発前は行渋りもあるが、帰ってくると満足した様子である。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	1		1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トイ口返子				公表日	2026年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	7		<ul style="list-style-type: none"> ・教室の中に柱があり、死角になる場所がある。 ・子ども+支援員20名が入ると狭く感じる。 ・体が大きい児童が多く、狭いと感じる。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	7		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎中など、教室待機人数が少なくなることがある。 ・時折、職員が足りないと感じる。 ・1対1の支援が必要な子どもを考えると足りていない。 ・常に人手不足、送迎が回らないことがほとんどである。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	4		<ul style="list-style-type: none"> ・トイレに段差がある。 ・2階でエレベーターがないが現在困っている児童はいない。 ・立地が悪く、駐車場が離れていたりドアがたくさんあって刺激が多い。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・机を移動し活動に合わせている。 ・清潔に保つ心がけはしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の幅は少なく、限られている。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	4		<ul style="list-style-type: none"> ・共有スペースを工夫して使っているが、もう少し落ち着けるスペースがほしい。 ・子供が自らクールダウンできるような個室がない。 ・教室外スペースはクールダウン場所となっているので他児童も行き来することがある。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2		<ul style="list-style-type: none"> ・職員意見を把握し業務改善のため会社へ適宜意見を述べている。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘されたところは改善に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者は特に入っていない。SVも入る機会は少ないが巡回の予定あり。 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10				
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10				

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			・終礼で伝えたり、ノートで共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			・保護者を通して共有しているが、急な送迎時間の変更もあるため改善の余地あり。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	3		・移行した例はまだないが今後必要に応じて対応したい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1		・送迎時や連絡帳で常に共有している。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	6			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	7			・父母の会はない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	2			・名簿が出しっぱなしにならないようしまうことを心掛ける。 ・HUG等の管理には注意が必要である。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10				・玄関カメラなしのため、玄関チャイムが鳴った際の確認が必要である。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10				
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1				